

農作物生育・技術情報6号

平成29年8月4日

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲生育状況 中苗: ななつぼし

生育は、8月1日現在で平年比+2日です。ほ場をよく観察して適期作業に努めましょう。

出穂・開花後の登熟初期(出穂始～20日間)は、籾の中で子房が急速に大きくなるため、水分が必要になります。この時期の高温や土壌水分不足等は、収量・品質に影響しますので、水田内の土壌水分や稲の登熟状況を観察し、生育に合わせた水管理を行ってください。

今後高温少雨が続く場合、カメムシによる被害が多くなりますので、「すくい取り」による予察を行い、防除を行いましょ。

また、葉いもちの発生は見られていないものの、ほ場をよく観察し、出穂以降の穂いもちの防除を徹底しましょう。

| 生育状況(8/1現在) | | | 〈技術対策〉 |
|-------------------|--------|--------|--|
| 項目 | 29年 | 平年 | |
| 草丈 | 97.1cm | 88.7cm | <ul style="list-style-type: none"> カメムシ防除対策 茎葉散布は「出穂期※」と「出穂期から7～10日後」の2回防除を実施する。2回目の防除は水田のすくい取り(20回振り)で判断する。 いもち病防除対策 穂いもち防除は「出穂期※」に行うが、出穂のバラツキがみられる場合は、穂揃期※に再度防除する。 |
| 葉数 | 11.4葉 | 10.7葉 | |
| m ² 茎数 | 595本 | 535本 | |
| 止葉期 | 7/19 | 7/21 | ※出穂期：全穂数の40～50%が出穂した時 ⇒ 7/31 穂揃期：全穂数の90%が出穂した時 ⇒ 8/5 頃 (ななつぼし) |
| 出穂始 | 7/26 | 7/29 | |
| 出穂期 | 7/31 | 8/2 | |
| 遅速 | +2日 | — | <ul style="list-style-type: none"> 落水時期と落水後の水管理 落水は「穂かがみ期」以降に行うが、湿田や透水不良田は「出穂期」後7日目を目安となる。ただ水田が乾燥する場合は走り水を行い、土壌水分を確保する。 |

2 主要野菜の生育状況

高温により害虫の発生が増加しています。また樹勢が衰えやすい環境が続いています。かん水・追肥等が遅れないように管理を行い、生育の回復を図りましょう。

| 作物名 | 生育状況 | 技術対策 |
|------|---|---|
| トマト | <ul style="list-style-type: none"> 5月定植で、3～4段目収穫中。 6月定植で1段目収穫中。 灰かび病、半身萎ちょう病、かいよう病の発生が見られる。 裂果が一部ほ場で見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 古葉や内側の葉の整理を行い、通気性を向上させる。 かいよう病は樹液感染するので、早めに抜き取る。 果実に直接日光が当たらない程度に摘葉する。 土壌水分を適正に保つ。 |
| きゅうり | <ul style="list-style-type: none"> 定植作業がほぼ順調に進み、定植後の活着も良好。 | <ul style="list-style-type: none"> 日中の温度が高くなりやすいため、定植直後は乾燥に注意する。 活着後も生育に応じたかん水を行い水分不足に注意する。 アブラムシ、アシグロハモグリバエ等の発生に注意し、早期防除を行う。 |

| 作物名 | 生育状況 | 技術対策 |
|-------------------|--|---|
| ハウス軟白ねぎ | ・3月定植収穫中 ・ハモグリバエ類、アザミウマ類、葉先枯れが見られる。 | ・ハウス内外の雑草除去、収穫残渣の処分を徹底する。 ・土壌水分不足にならないように適時かん水を行う。 |
| アスパラガス (ハウス立茎) | ・斑点病、灰色かび病、アザミウマ類の発生がある。 | ・斑点病は7~9月に重点的に防除を行う。 |

※日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイドの抵抗性が確認されました。

今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

3 畑 作

- ばれいしょ 疫病・軟腐病発生が心配されます。塊茎腐敗による収量、品質に影響を及ぼしますので注意してください。
発生が確認された場合は、直ちに治療効果のある薬剤を選択しましょう。

【ばれいしょ防除薬剤例】

| 病害名 | 薬剤名 | 効果 | 使用回数 |
|-----|------------|-------|------|
| 疫病 | ホイズントライアフル | 予防・治療 | 4回 |
| 軟腐病 | スターナ水和剤 | 治療 | 5回 |

- 小 豆 開花後に、菌核病・灰色かび病等が発生しやすくなります。ほ場をよく観察しましょう。

| 病害虫名 | 防除時期 |
|-----------|-----------------------------------|
| 灰色かび病・菌核病 | 1回目：開花始7~10後 2回目：1回目防除から7~10日後 |
| アズキノメイガ | 8月上旬~中旬 |

- 大 豆 マメシンクイガの防除は若莢が着いたころ1回目の防除時期になります。

| |
|--------------------|
| 1回目：8月10日~15日ころ |
| 2回目：1回目の散布から7~10日後 |

※連作畑や去年発生が多いほ場では要注意

4 畜 産

- 牧草生育状況（8月1日現在）

| 作物名 | 生育状況 | | | 遅速 日数 | 摘 要 (作業期節・特記事項) |
|--------|---------|--------|--------|----------|--------------------|
| | 項目 | 29年 | 平 年 | | |
| 牧草(苜蓿) | 草丈(2番草) | 54.9cm | 54.6cm | ±0 | 生育は平年並み |

- ①二番草の刈取時期は一番草刈取後、45日~50日です。良質粗飼料を確保しましょう。
- ②収穫したロールバールは、速やかにほ場から搬出しましょう。
- ③ロールバール乾草の堆積段数は3段以内とし、縦積みとします。

- サイレージ用とうもろこし生育状況（8月1日現在）

| 作物名 | 生育状況 | | | 生育期節 | 遅速 日数 | 備 考 |
|--------------|----------|------------------|------------------|-------|----------|---------|
| | 項目 | 29年 | 平 年 | | | |
| サイレージ用とうもろこし | 草丈 葉数 | 287.5cm 16.3枚 | 259.9cm 16.8枚 | 雄穂抽出期 | -1 | 生育は平年並み |

- 家畜の飼養管理

- ①暑熱ストレスを軽減するため、換気や送風を行い、体感温度の低下を図りましょう。
- ②良質な粗飼料を給与し、乾物摂取量を確保しましょう。
- ③疾病予防のため、農場内外の衛生対策を徹底しましょう。